

1千冊分 平田建設寄付継続

「本に触れる機会充実を」土幌町に19年間



贈呈式に臨んだ（左から）高木町長、福田生徒会長、図書委員の渡邊悠人さん、長谷川社長、小室校長

【土幌】土幌町内の平田建設（長谷川雅毅社長）が町に図書購入費10万円分の寄付を19年間続け、この寄付金で町が購入した図書が、昨年で累計1000冊を突破した。8月31日、土幌中央中学校（小室彰人校長、生徒163人）で贈呈式が開かれた。

インターネットの普及で活字に向き合う時間が減っている昨今、身近なところで本をたくさん読んでもらい、活字離れの防止につなげようと、同社が2005年から地域貢献活動として行っている。購入した本は全て同校図書室にある「平田文庫」コーナーに並ぶ。同文庫には本屋大賞受賞作の小川哲さんの「君のクイズ」や町田そのさんの「宙（そら）ごほん」、大ヒット漫画「ちやふる」

の小説、文学など幅広い本が置かれている。

贈呈式では、生徒会長の福田琴梨さん（3年）が「ミステリー小説が特に好き。本を読むことで語彙（ごい）力も増えて勉強になる」と

笑みを浮かべた。小室校長は「読みたい本が図書館に埋まり、生徒の心の成長につながる」と感謝した。

同日、長谷川社長は町役場も訪れ、高木康弘町長に10万円分の寄付金を手渡し

た。高木町長は「地域貢献で生徒たちへの寄付はありがたい」、長谷川社長は「本に触れる機会の充実につなげ、優秀な生徒が育つてほしい」と話した。

（大健太郎）